

人との助け合い

長崎県立豊玉高等学校

阿比留

楓奈

私は助け合いが支え合いという言葉から地域のつながりのことを思い浮かべました。

なぜなら、中学校の時に定期的にあいさつ運動を行っていたことを思い出したからです。私は最初、あいさつ運動をするのが苦手でした。校門の前に立って、普段、話さない地域の人にあいさつするのは、少し取ずかしくて

最初の頃は声が小さいことをよく注意されていました。しかし慣れてくると取ずかしさもなく、なってきた。地域の人とも話せるようになりしました。地域の人があいさつを返してくることも、次第に自分の自信につながりました。あいさつをして、あいさつを返してくるという小さなことが、自分にとっては大きな成長につながりました。もしかしたら、私がありさつをしたことで、うれし気持ちになつてくれた人がいるかもしれないと思っ

と、とてもうれしい気持ちになりました。

また、学校内でボランティアの清掃活動をする中でも、地域の方も一緒になって手伝ってくださったり、応援してくださったりしたので、私自身も気持ち良く清掃活動ができてうれしかったです。

このように、実は何気ないあいさつや清掃活動が地域との助け合いや見え合いにつながっていると思います。高校でもあいさつ運動やボランティア活動はたくさんあります。こ

れらの活動に積極的に参加することで、地域の人とも助け合っていきたいと思いました。

さらに、家族や同級生とも、会話を増やすことで積極的にコミュニケーションを取っていきたいと思います。こうしてコミュニケーションを取ることで、ときには声をかけることができます。反対に、私が困っているときにも、相談しやすくなり、まさに「助け合う」関係を築くことができると思います。人に自分から声をかけ

ることは少し勇気がいりますか、助け合いか
できる関係を築くために、自分から話しか
けにいきたります。